

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ルピナス児童発達支援事業所					公表日	令和8年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・子どもの人数や活動内容によってスペースの活用方法を変更している。	・机や椅子の位置、各部屋の使い方をさらに工夫していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・経験年数のある保育士が多い。	・子の状況に合わせ、職員配置を見直していく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・安全面に配慮し、スロープや手すり、エレベーターやクッションフロアを完備している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日の清掃を徹底している。 ・運動遊びや園庭遊び、スヌーズレンルームなど、活動に合わせて空間を使用している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・心身の状況によって活動とは別部屋で過ごすことも認めている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・毎日会議を行い、職員間での共有を行っている。	・職員の勤務時間の関係で会議に出席することができない職員もいるので記録としてしっかり残して共有していきたい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者の意向を把握し業務改善につなげていけるようにしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・職員間で意見を出しやすい雰囲気なのでいつでも困ったことがあれば相談できる環境になっている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		・多角的に業務を見直していきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部での研修は参加する機会が設けられている。	・事業所内での研修も今後行っていきたい。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・5領域との関連性を明確にしたプログラムを作成し公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・アセスメントを丁寧に行う事でニーズに合った支援計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・毎回職員間で情報を共有し、検討会議を行う事で支援計画を作成している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・常に職員間で計画内容を意識して支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・丁寧なアセスメントを心掛けている。	・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントもおこなってほしい。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ガイドラインに沿って適切な支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・プログラムの内容は相談できる環境が整えられている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・固定化しないよう定期的に新しいプログラムを取り入れている。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・子どもの状況に応じて個別での生活面の課題や集団活動を適宜組み合わせている。	・支援プログラムの充実を図っていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・日案でその日の支援内容や役割分担について共有している。	・前日までに職員で共有できると良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・職員会議を毎日行い、気付きや支援方法について振り返り、検討している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・個別支援計画の検証がしやすくなるよう、記録の取り方を工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的にモニタリングを行い、保護者の思いを計画に反映している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・関係機関との会議に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・送迎の際、事業所の様子を伝え、園の様子聞き取りもしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・園訪問し、園での様子を実際に見たり、支援方法を共有したりしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・小学校の移行支援会議に参加している。	・小学校との連携を深めていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	・児童発達支援センターへ職員が見学を行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・姉妹園とイベントでの交流を行っている。	・姉妹園と活動する機会を増やしていきたい。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・写真付きの連絡帳で日々の様子を伝えている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・家族支援として相談会の日を設けていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・玄関に運営規定を置き、いつでも閲覧できるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・電話やメッセージ機能、面談を通して、保護者の相談に応じている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		・見学会や保護者会の開催を検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・保護者の困り感に対して、面談や電話などで迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・写真付きのお便りを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・音楽会を開催した。	・利用者だけでなく、地域の方への相談会を実施していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルに沿った訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・定期的に訓練や備蓄の確認を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に服薬やてんかん発作等について保護者へ聞き取り、書面で提出いただいている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・施設内調理を行っている。 ・卵を使用していない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハットを職員会議で共有し、再発防止策を検討している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止マニュアルに沿って研修を行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束マニュアルを職員が目届くところに置いてある。		